

Microsoft Edge IE モード設定手順

賃金控除事務支援システム

労働金庫連合会

2024年10月1日

はじめに

本書は、賃金控除事務支援システムのブラウザー画面を Microsoft Edge IE モードで使用できるようにするための設定手順および留意事項について記載したマニュアルです。

目次

1. 概要.....	4
1-1. IEモードとは	4
2. IEモードを利用可能にする	5
2-1. 設定の流れ.....	5
3. Microsoft EdgeからIEモードを設定する.....	6
3-1. Microsoft Edgeの設定.....	6
3-2. IE モードでの再読み込み	12
3-3. IE モードページの有効期限について.....	14
4. Windows の設定ツール グループポリシーからIEモードを設定する.....	15
4-1. グループポリシーファイルのダウンロード	15
4-2. グループポリシーファイルの配置.....	16
4-3. グループポリシーファイルのコピー	18
4-4. サイトリスト格納フォルダの作成	20
4-5. グループポリシーの編集.....	20
4-6. サイトリストの作成	26
4-7. サイトリストの適用	28
5. その他.....	30
5-1. IEモードの設定を行ってもログイン画面が表示されない場合	30
5-2. IEモードの設定で URL の登録ができない場合.....	32
5-3. ポリシーファイルについて	33
5-4. サイトリスト格納フォルダについて	33
5-5. サイトリスト適用時にエラーが表示される場合.....	33

1. 概要

1-1. IEモードとは

IE モードとは、Microsoft Edge 上で Internet Explorer の機能をエミュレートするモードです。

※一部の古い Microsoft Edge では IE モードを利用することはできません。

IE モードが設定された Web サイトを Microsoft Edge で開くと、以下のように Internet Explorer のアイコンがブラウザー画面に表示されます。



IE モードが未設定の場合や、正しく設定されていない場合には、以下のように表示され、Internet Explorer のアイコンがブラウザー画面に表示されません。また、賃金控除事務支援システムのログインボタンなどが押せなくなり利用できません。



2. IEモードを利用可能にする

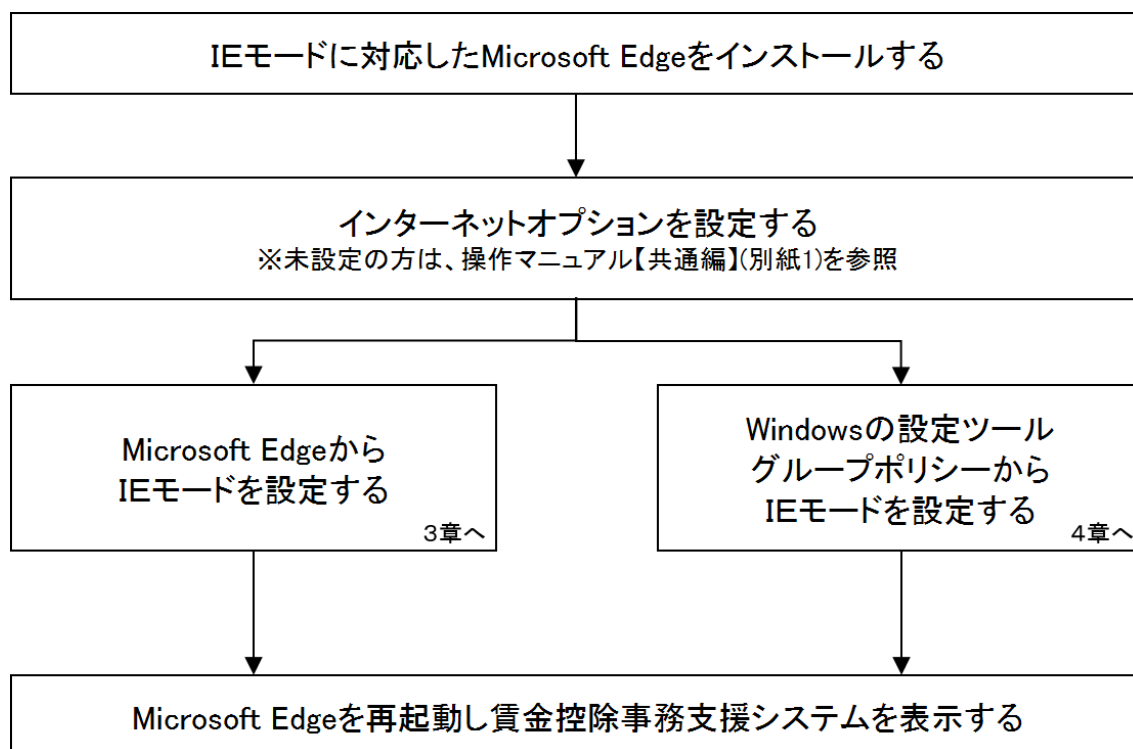
IE モードを利用できるようにするためには、以下の 2 つの設定方法があります。

ご利用のパソコン環境に合った設定方法をお選びください。

なお、Microsoft Edge から IE モードを設定する場合 (3 章)、定期的に作業を行う必要があります。

2-1. 設定の流れ

IE モードを利用できる様にするための手順は次の通りです。



※IE モードに対応した Microsoft Edge のインストールについて

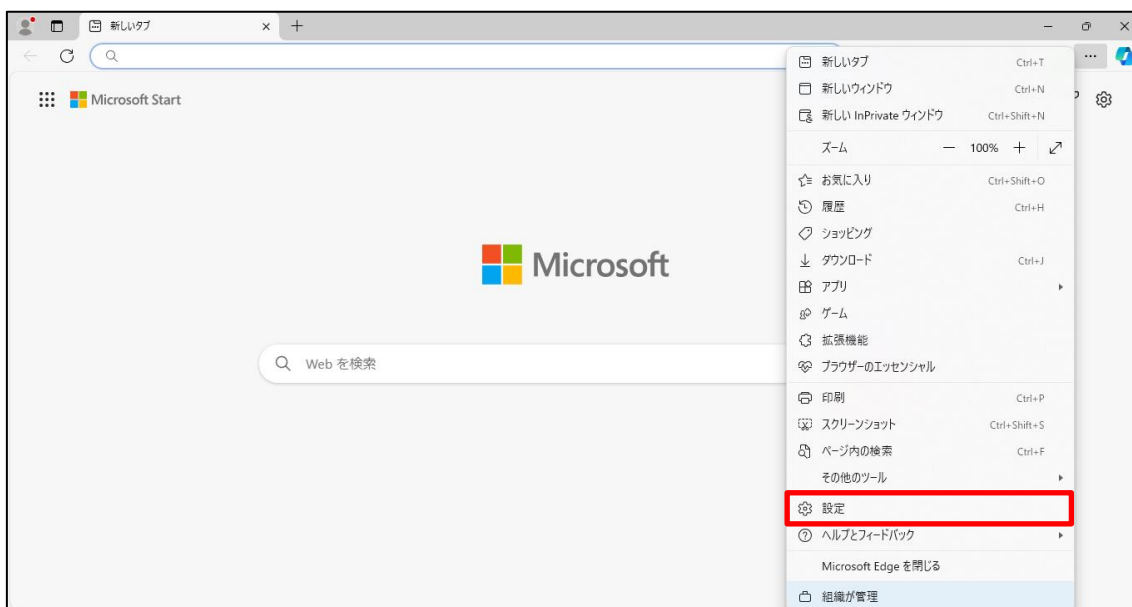
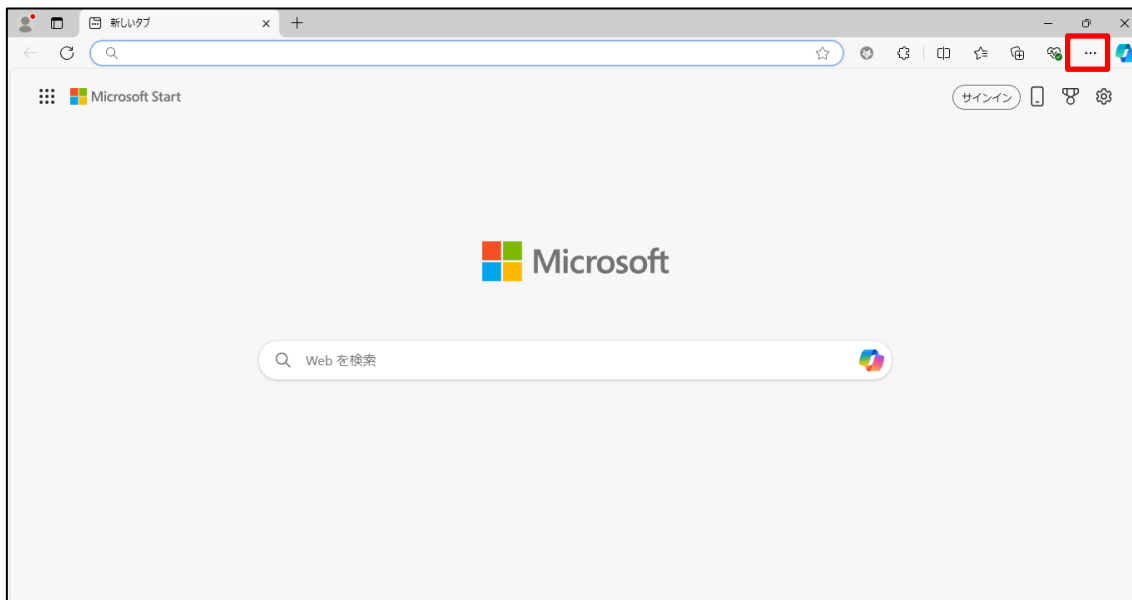
Microsoft Edge がインストールされていない場合や、Microsoft Edge が IE モード対応版でない場合は、Windows Update またはマイクロソフトのダウンロードサイトから最新の Microsoft Edge をインストールしてください。

3. Microsoft EdgeからIEモードを設定する

Microsoft Edge の設定画面から IE モードの設定を行う手順について以下に示します。

3-1. Microsoft Edgeの設定

Microsoft Edge を起動し、右上の「…」からメニューを展開し、「設定」をクリックします。



「Cookie とサイトのアクセス許可」をクリックします。



「Cookie とサイトデータの管理と削除」をクリックします。



「Cookie データの保存と読み取りをサイトに許可する (推奨)」が有効になっていることを確認してください。無効になっている場合は、有効に設定してください。



設定確認後、「← 保存された Cookie とデータ」の部分をクリックし前画面へ戻ります。



次に、「JavaScript」が「許可済み」になっていることを確認してください。「ブロック済み」になっている場合は、「JavaScript」をクリックし「許可済み」に設定してください。



下図のように「許可済み」に設定してください。

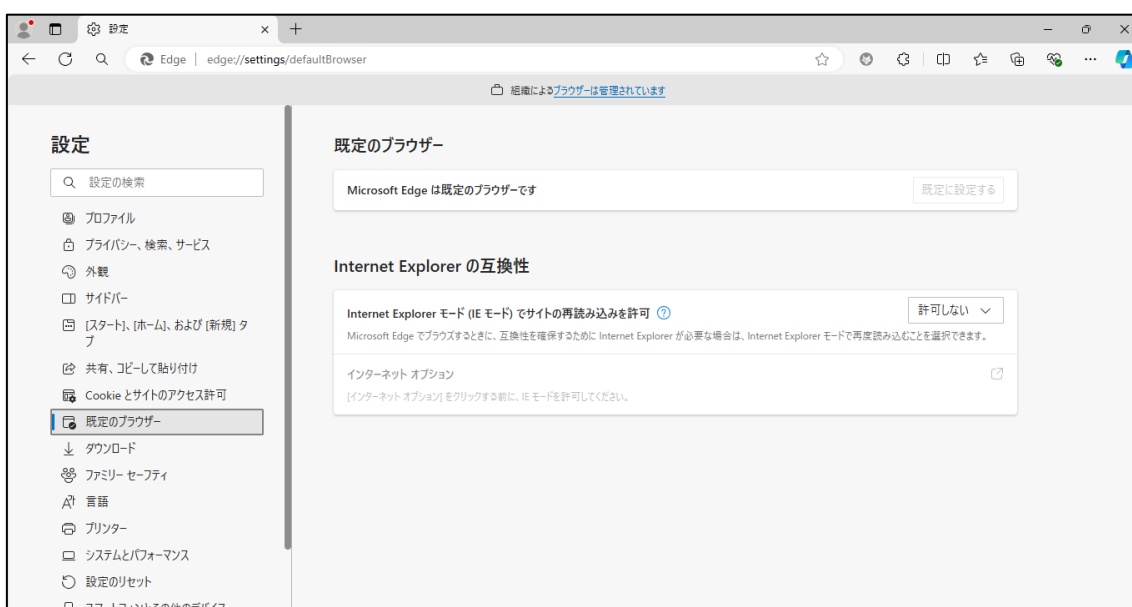
設定確認後、「← サイトのアクセス許可」の部分をクリックし前画面へ戻ります。



「既定のブラウザー」をクリックします。



「既定のブラウザー」の設定画面が表示されます。



「Internet Explorer モード (IE モード) でサイトの再読み込みを許可」を選択して、
「再起動」をクリックします。

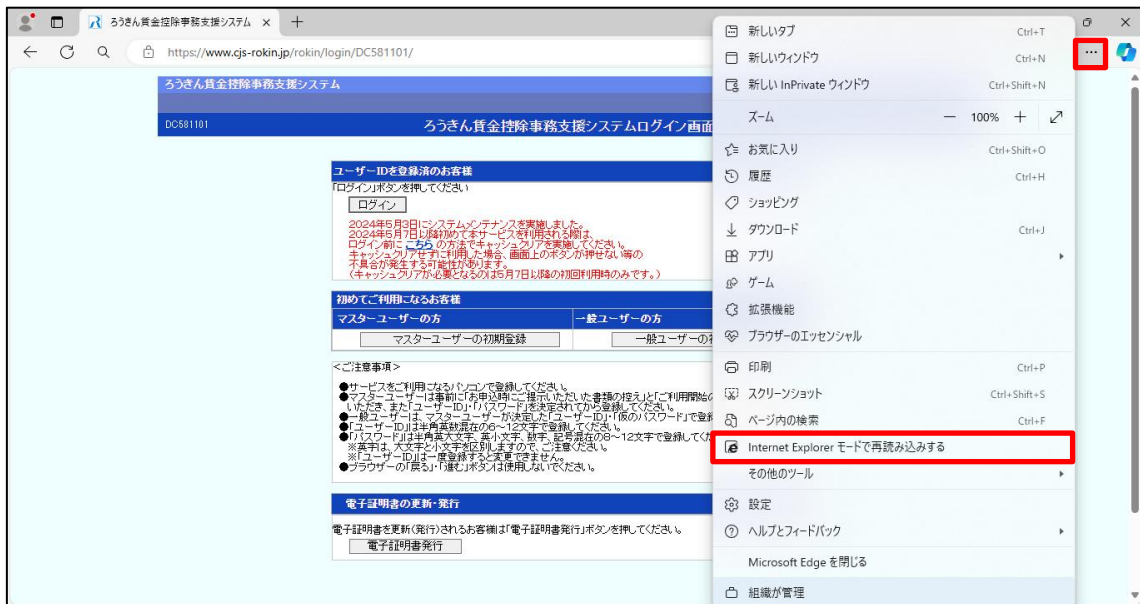


3-2. IE モードでの再読み込み

再起動されたブラウザから賃金控除事務支援システム (<https://www.cjs-rokin.jp>) にアクセスします。



「…」からメニューを展開し「Internet Explorer モードで再読み込みする」をクリックします。

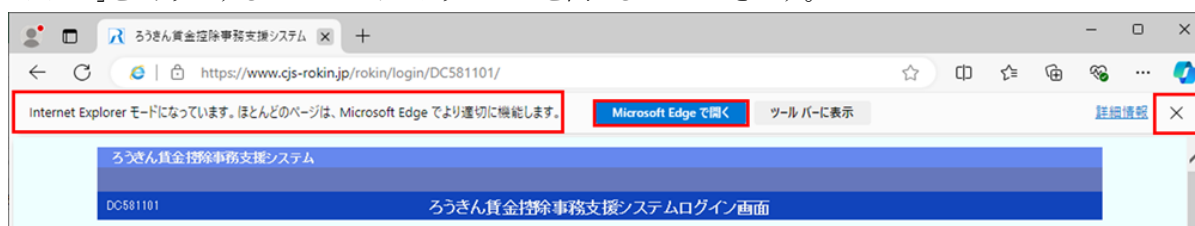


ブラウザ左上に「このページは Internet Explorer モードで開かれています」と表示されたら、「次回、このページを Internet Explorer モードで開く」を有効にして、「完了」をクリックします。「完了」をクリックした場合は、次回、賃金控除事務支援システムにアクセスしても IE モードで表示されます。



【補足】

- ・「管理」をクリックすると、Edge:設定「既定のブラウザ」画面を表示します。
- ・ウィンドウ画面の「×」をクリックし画面を閉じても、ブラウザ画面は IE モードで開かれています。
- 「次回、このページを Internet Explorer で開く」を有効にしないで「完了」をクリックした場合や、ウィンドウ画面の「×」をクリックした場合は、ブラウザ画面を閉じた時点で IE モードを終了します。
- ・ブラウザ左上に「Internet Explorer モードになっています。ほとんどのページは、Microsoft Edge でより適切に機能します。」と表示されたことを確認し、賃金控除事務支援システムをご利用ください。
- ※「Microsoft Edge で開く」をクリックすると IE モードを終了するため注意してください。
- ※「×」をクリックすると IE モードのメッセージを閉じることができます。

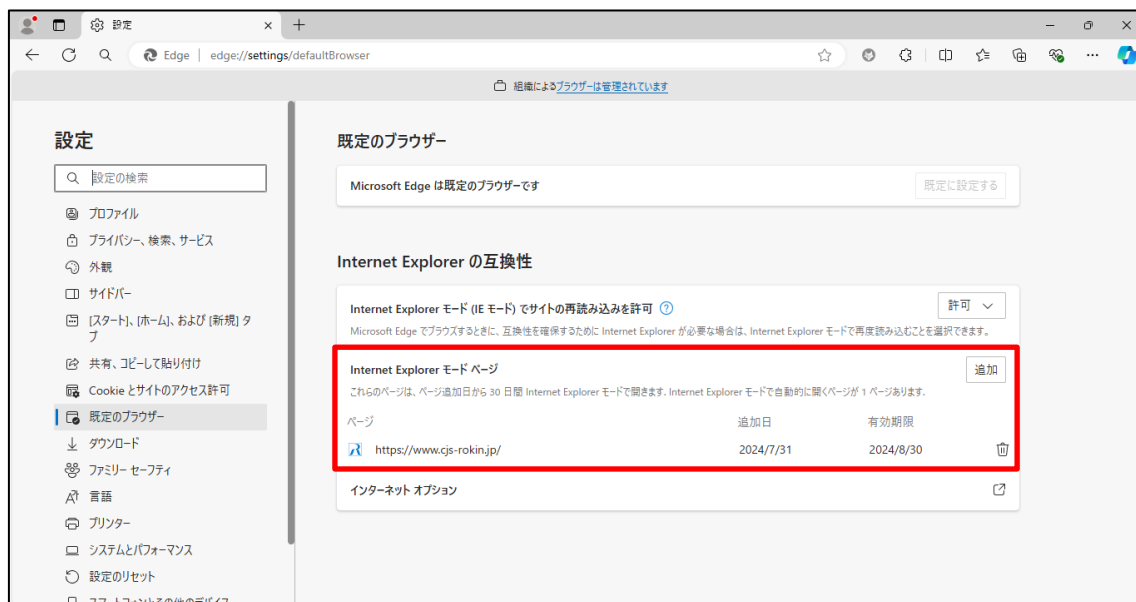


以上で IE モードの設定は完了です。

3-3. IE モードページの有効期限について

下図のようにブラウザーの設定(右上の「…」からメニューを展開し、「設定」>「既定のブラウザー」)にて確認ができますが、IE モードのページ表示には有効期限があり、追加日から 30 日間となります。

そのため有効期限が切れた場合、「手順 3-2 IE モードでの再読み込み」より再度 IE モードへの切り替え作業を行ってください。



4. Windows の設定ツール グループポリシーからIEモードを設定する

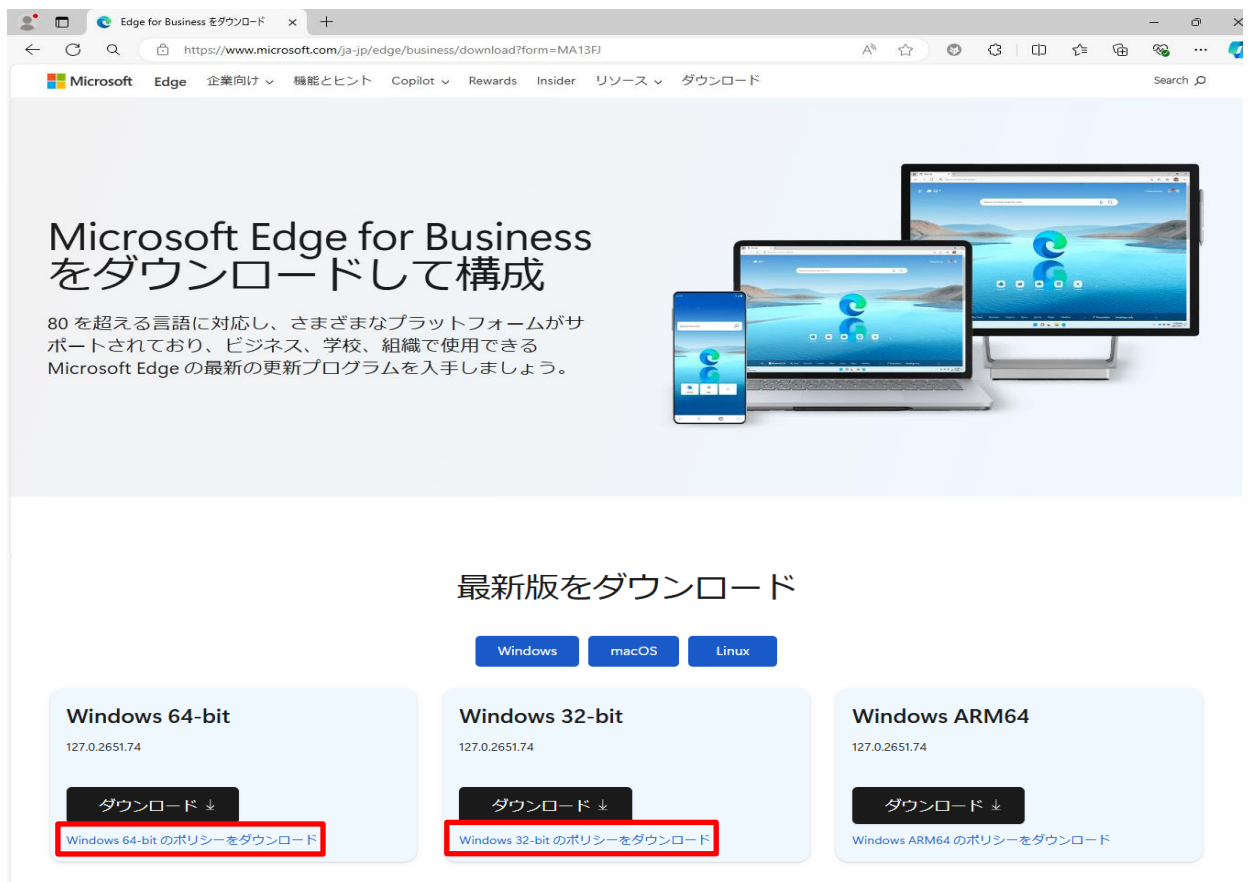
Windows の設定ツール グループポリシーから IE モードの設定を行う手順について以下に示します。

なお、グループポリシーから設定を行うと IE モードの有効期限が無期限になります。

4-1. グループポリシーファイルのダウンロード

Microsoft 公式の Edge ダウンロードページにアクセスしポリシーファイルをダウンロードします。

<https://www.microsoft.com/ja-jp/edge/business/download>



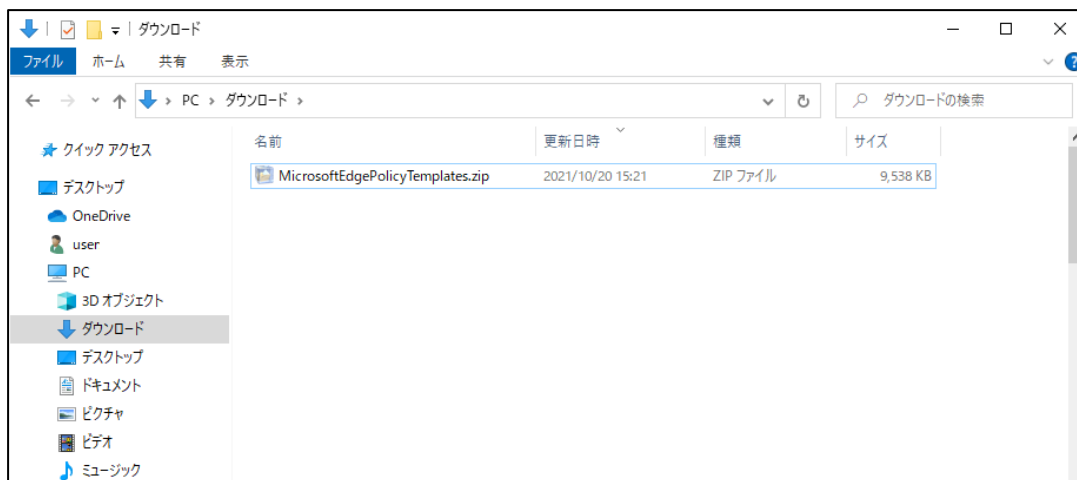
※2024 年 7 月現在の Microsoft 公式サイトです。

ご利用環境のパソコンが 32 ビット版か 64 ビット版かを確認し、該当するポリシーファイルをダウンロードしてください。

※Windows スタートメニューから「設定」>「システム」>「詳細情報」>デバイスの仕様:システムの種類から 32bit 版か 64bit 版を確認できます。

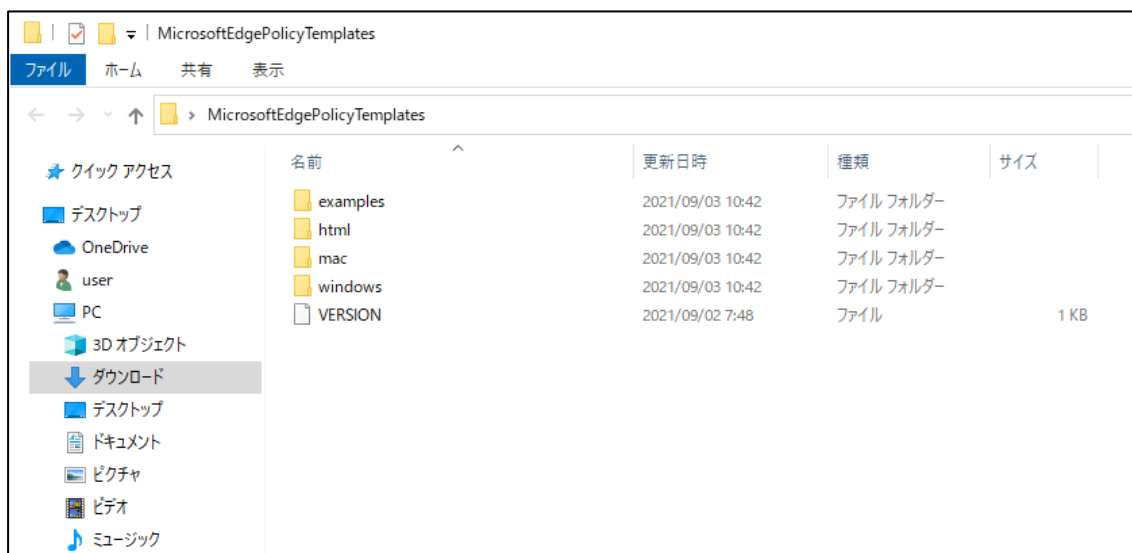
4-2. グループポリシーファイルの配置

選択したポリシーファイルがダウンロードされているか確認してください。



※ダウンロードしたポリシーファイルが cab ファイルの場合は、ダブルクリックして zip ファイルに展開してください。

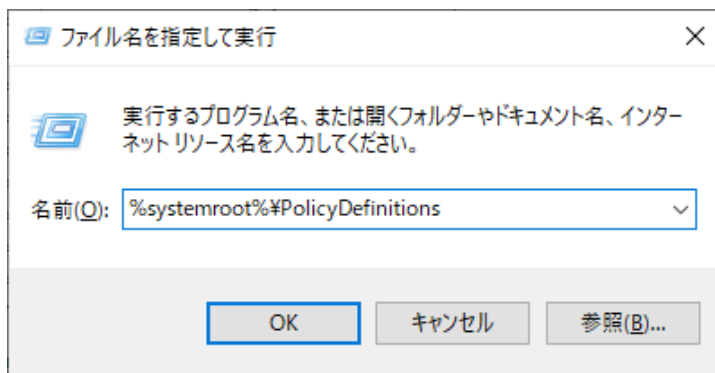
ダウンロードしたポリシー zip ファイルをダブルクリックし、任意のフォルダに展開してください。
展開された後のフォルダ構成は、下図のようになります。



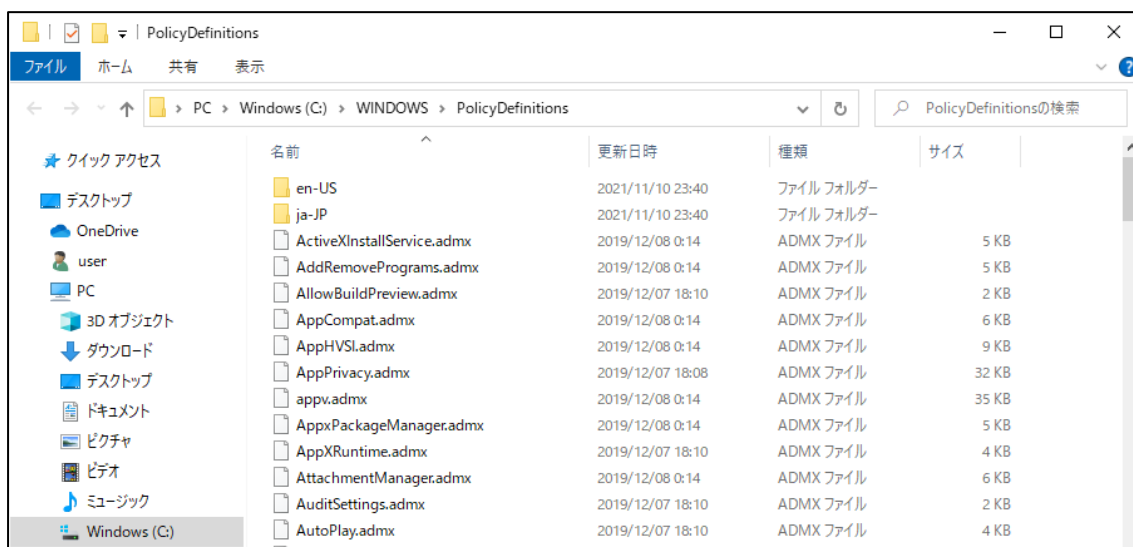
ご利用環境のパソコンに PolicyDefinitions フォルダが存在することを確認します。

「Windows キー+R」にて「ファイル名を指定して実行」を開き、以下の文字列を入力して「OK」をクリックしてください。

確認フォルダ： %systemroot%\PolicyDefinitions



ファイル名を指定して実行した結果、PolicyDefinitions のフォルダ構成は下図のようになります。



※%systemroot%とは、システムルートフォルダです。ご利用環境によりフォルダが異なります。

この場合は、C:\WINDOWSがシステムルートフォルダとなります。

4-3. グループポリシーファイルのコピー

ダウンロードしたポリシーファイルを PolicyDefinitions フォルダへコピーします。

【コピー元フォルダ】

<ダウンロードしたフォルダ>%windows%admx

【コピー先フォルダ】

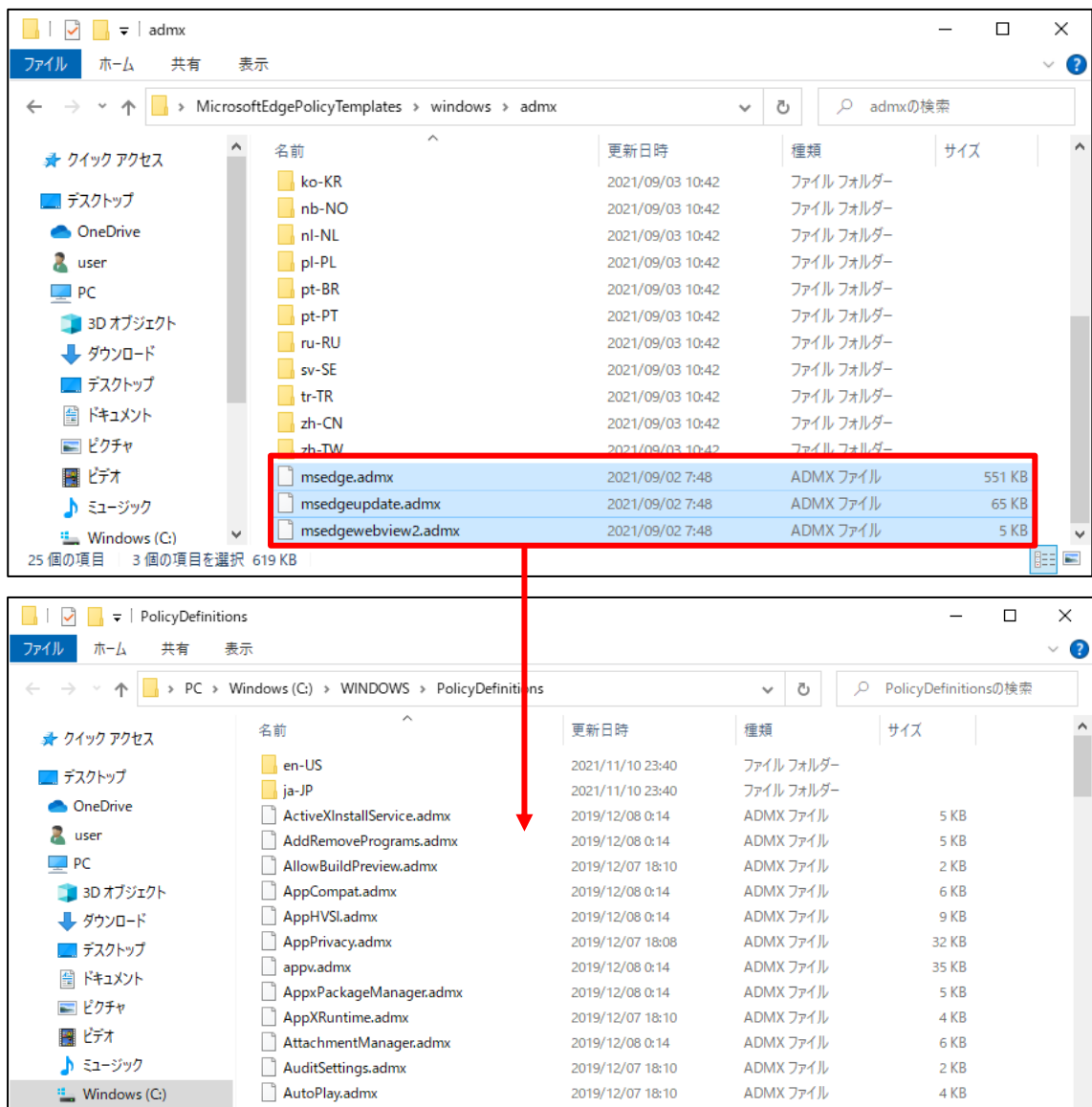
%systemroot%\PolicyDefinitions

コピーする対象ファイル:計 3 ファイル

msedge.admx msedgeupdate.admx msedgewebview2.admx

※管理者権限で実行することを確認するウィンドウが表示された場合、「OK」または「続行」をクリックしてください。

ダウンロードした計3つのポリシーファイルを PolicyDefinitions フォルダへコピーします。



同様に、ダウンロードしたポリシーファイルを ja-JP フォルダから PolicyDefinitions フォルダ内の ja-JP フォルダへコピーします。

【コピー元フォルダ】

<ダウンロードしたフォルダ>%windows¥adm¥ja-JP

【コピー先フォルダ】

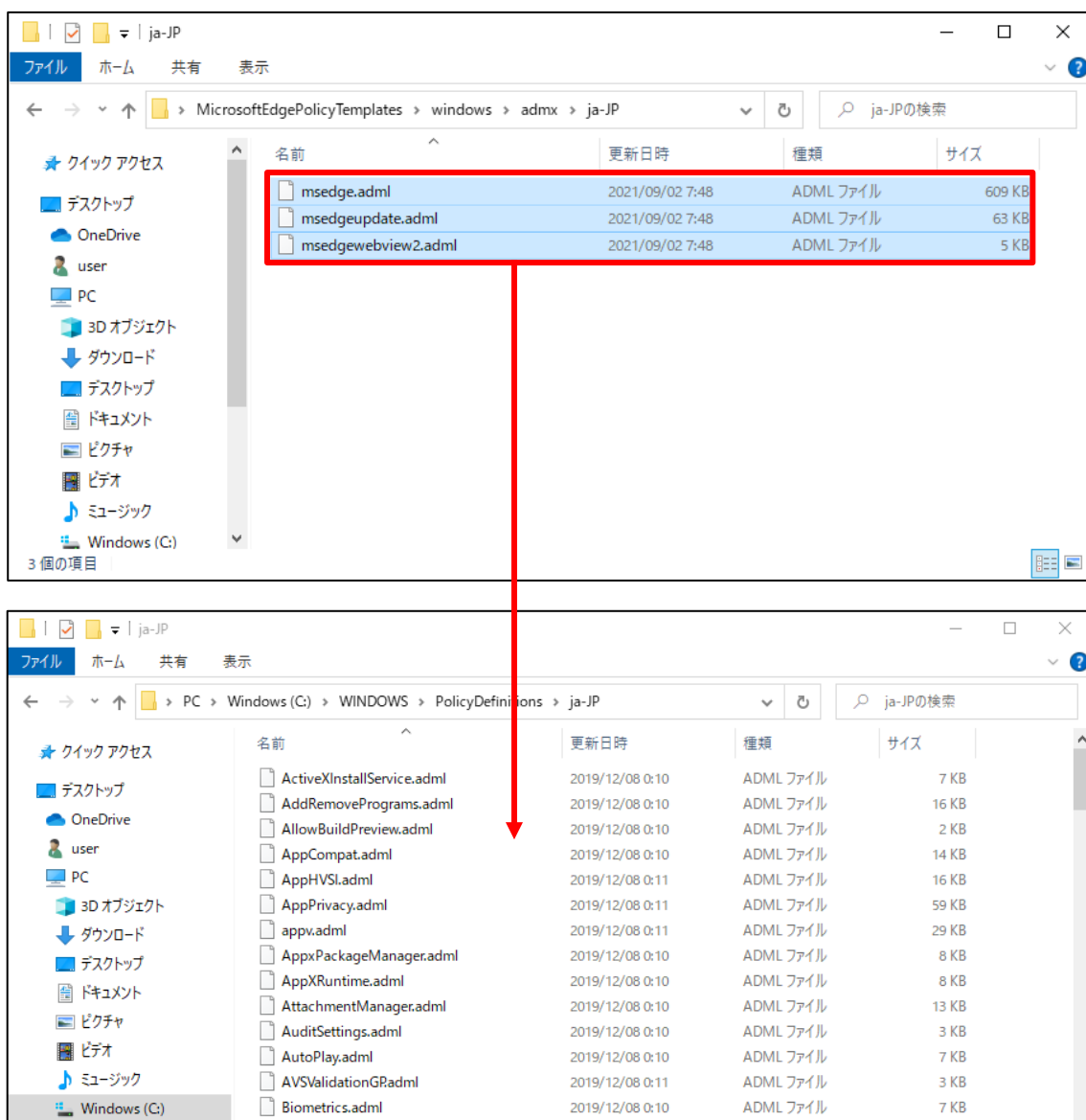
%systemroot%¥PolicyDefinitions¥ja-JP

コピーする対象ファイル:計 3 ファイル

msedge.adml msedgeupdate.adml msedgewebview2.adml

※管理者権限で実行することを確認するウィンドウが表示された場合、「OK」または「続行」をクリックしてください。

ダウンロードした計3つのポリシーファイルを PolicyDefinitions¥ ja-JP フォルダへコピーします。



4-4. サイトリスト格納フォルダの作成

手順 4-6 で作成するサイトリストを格納するフォルダを予め作成しておきます。フォルダ名は、任意で設定することができます。

例) ローカルディスクにフォルダ名 IEmode で作成

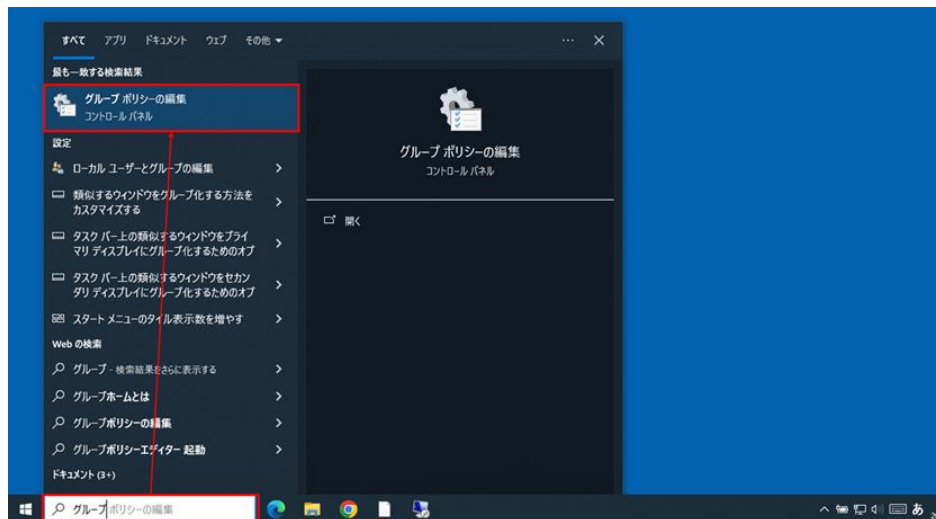


4-5. グループポリシーの編集

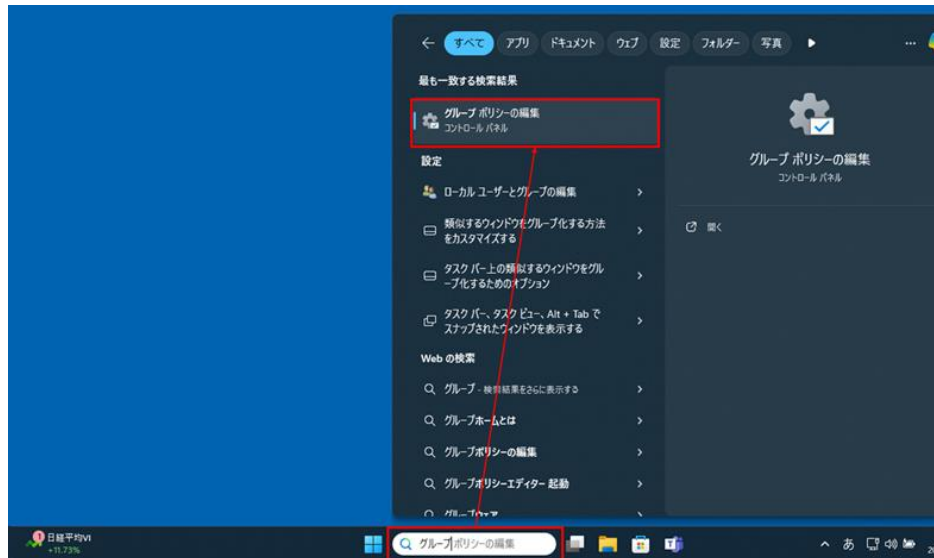
グループポリシーを編集し、Edge の IE モードを使用できるようにします。

Windows の「検索」から「グループ」と検索し、「グループポリシーの編集」を開きます。

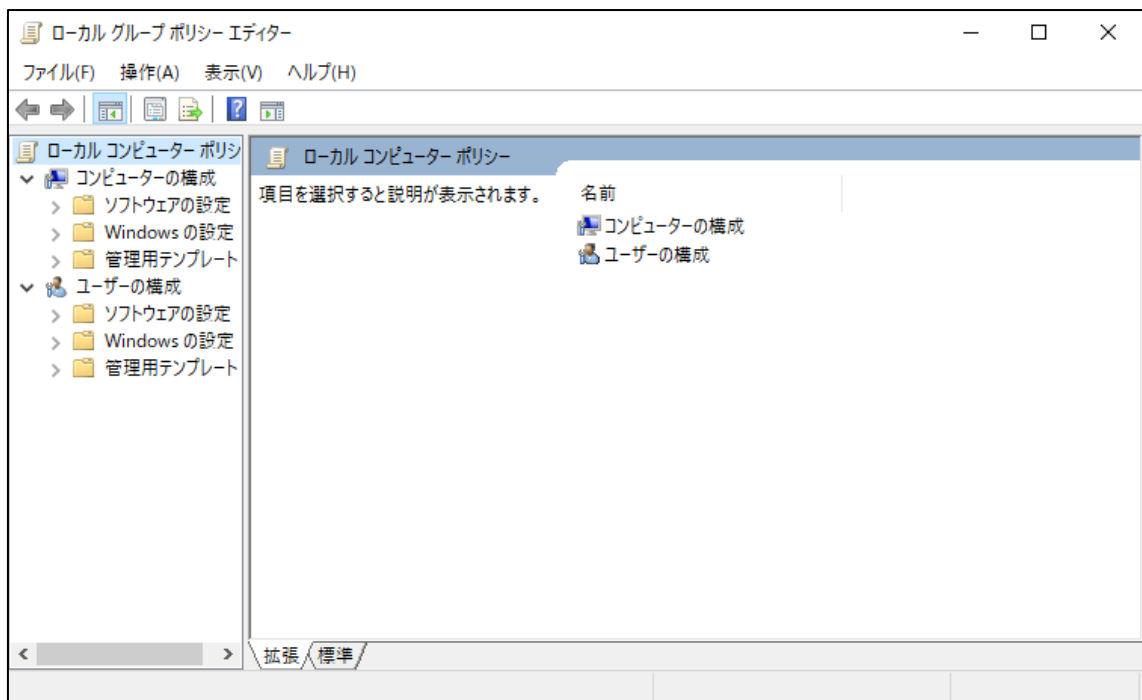
ご利用の OS が Windows 10 の場合



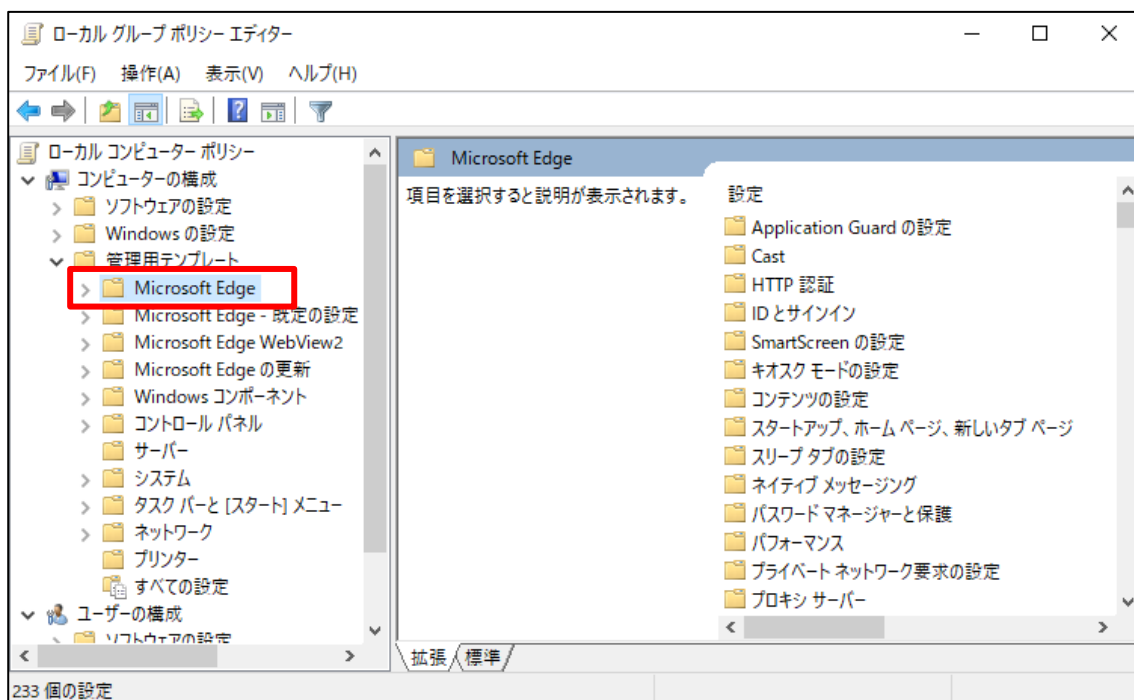
ご利用の OS が Windows 11 の場合



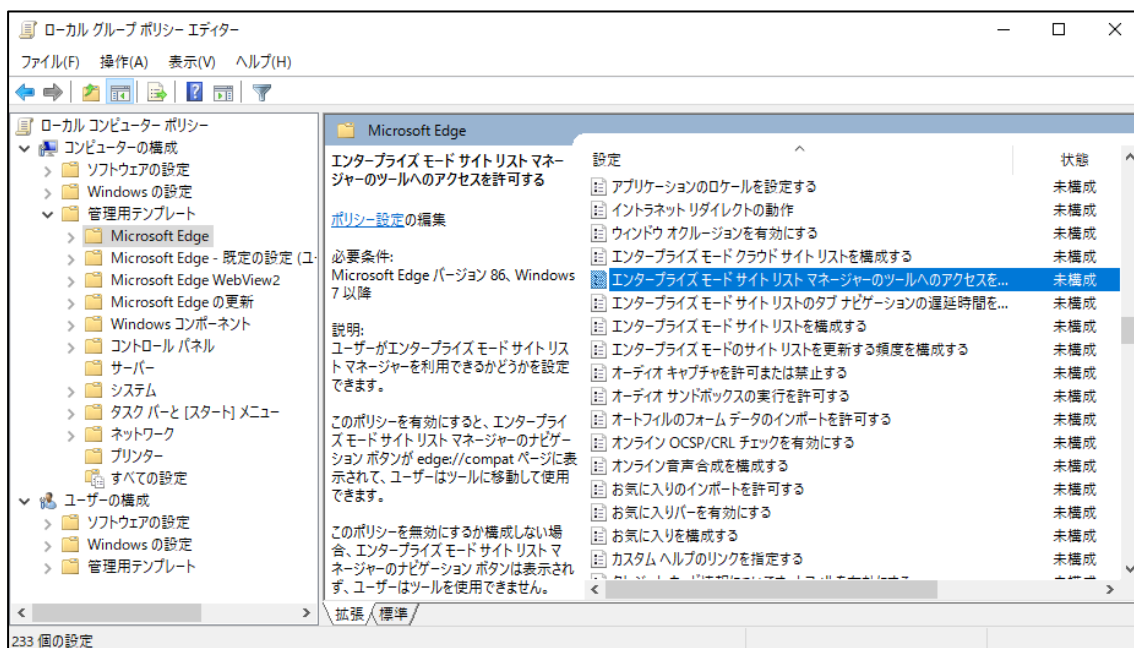
ローカルグループポリシーエディターが表示されます。



ローカルグループポリシーエディターにて、「コンピューターの構成」>「管理用テンプレート」>「Microsoft Edge」を選択します。

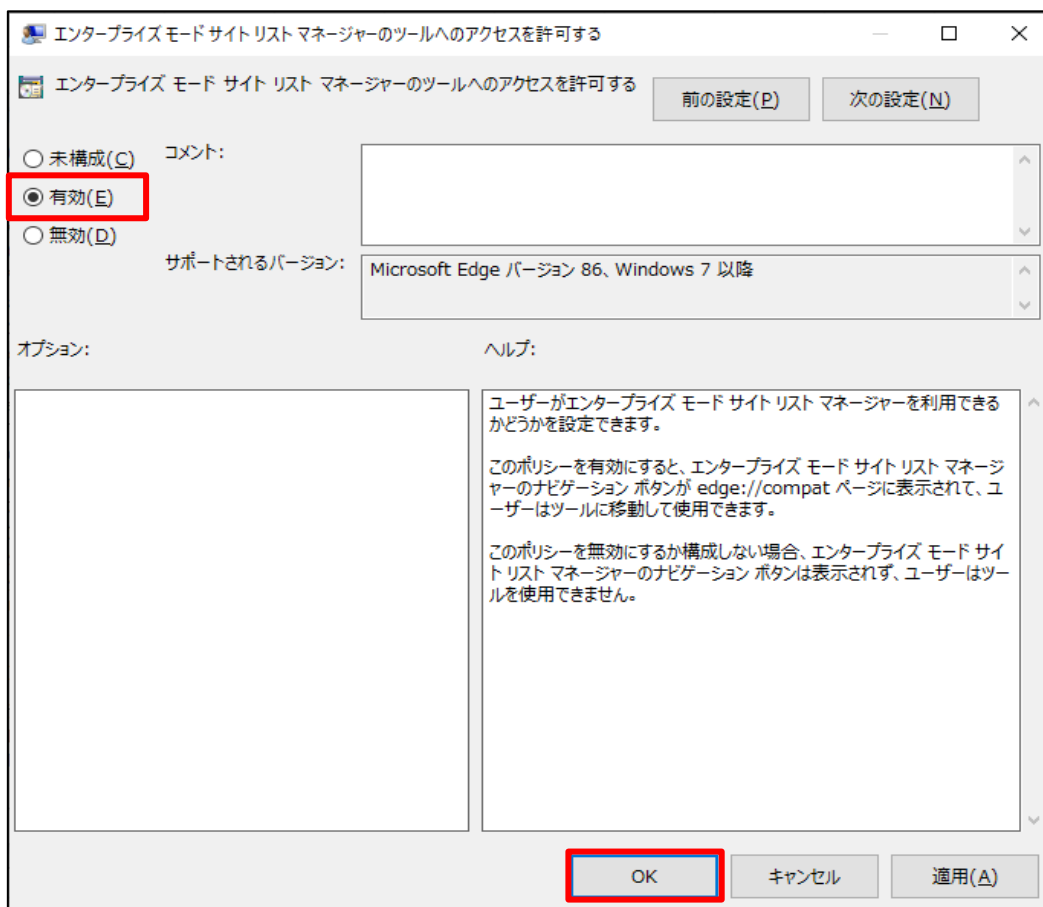


ポリシーの一覧から「エンタープライズモードサイトリストマネージャーのツールへのアクセスを許可する」をダブルクリックし、編集画面を開きます。

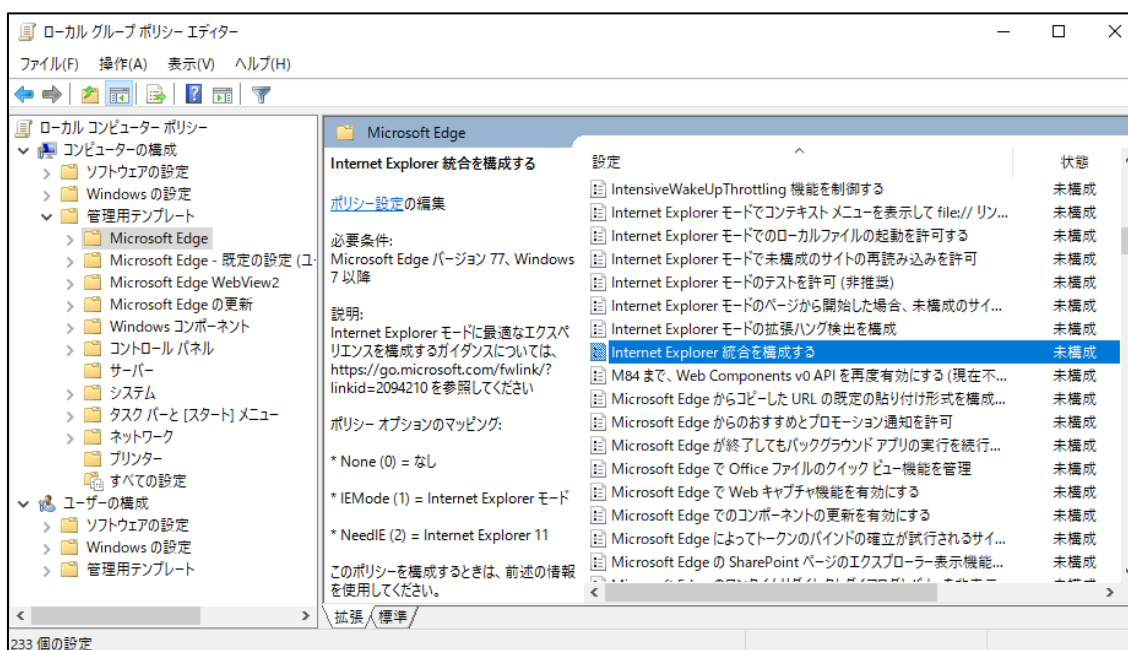


※見出し部分の「設定」をクリックすると 50 音順に並べ替えることができます。

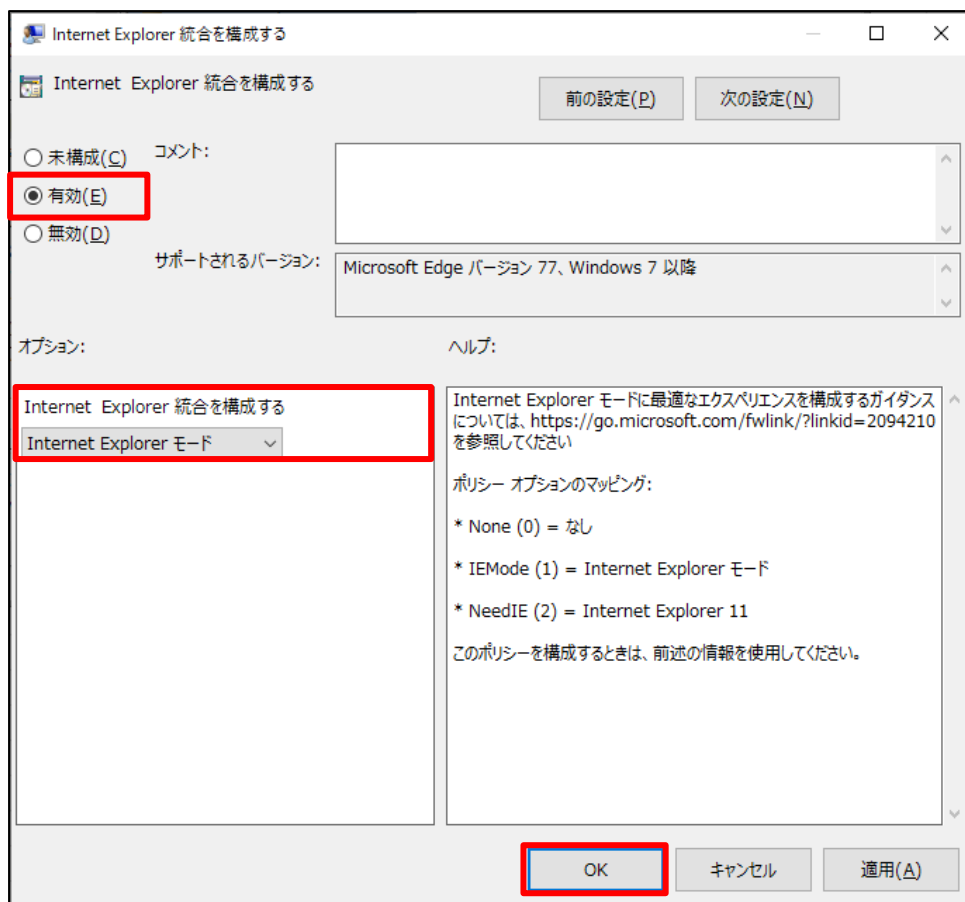
「有効」に設定して、「OK」ボタンをクリックします。



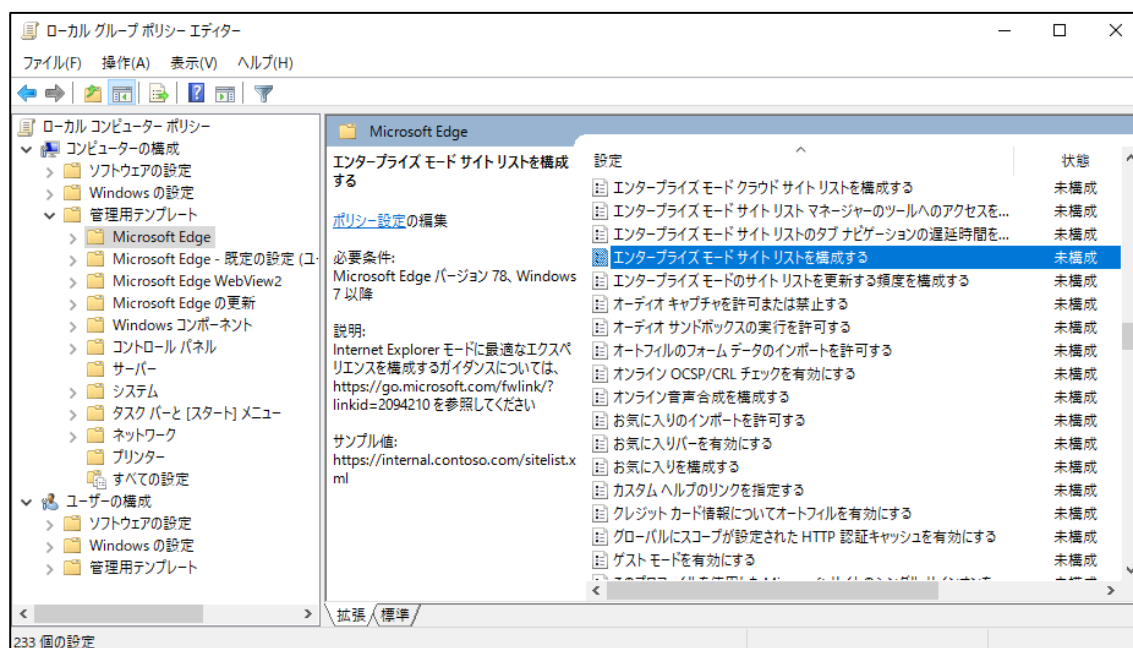
ポリシーの一覧から「Internet Explorer 統合を構成する」をダブルクリックし、編集画面を開きます。



「有効」に設定し、オプションには「Internet Explorer モード」を設定して「OK」ボタンをクリックします。

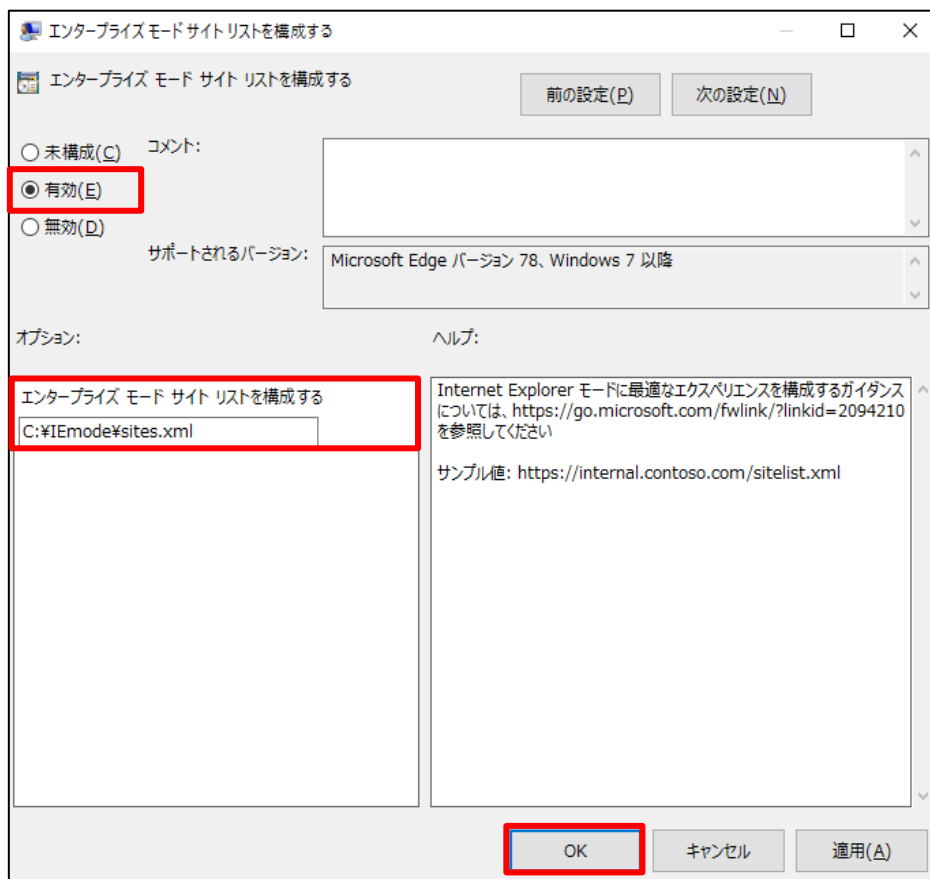


ポリシーの一覧から「エンタープライズモードサイトリストを構成する」をダブルクリックし、編集画面を開きます。



「有効」に設定し、手順 4-4 で作成したサイトリストを格納するフォルダおよびファイル名を設定して「OK」ボタンをクリックします。ファイル名は任意の xml ファイルを指定してください。

例) 手順 4-4 で作成したフォルダ名 + 「¥」 + sites.xml で作成



以上でグループポリシーの設定は完了です。「×」でローカルグループポリシーエディター画面を閉じてください。



4-6. サイトリストの作成

Edge の IE モードで表示する賃金控除事務支援システムのアドレスを登録します。

Microsoft Edge を立ち上げ、アドレスバーに以下の URL を入力し「Microsoft Edge の互換性」ページにアクセスします。

入力する URL edge://compat/sitelistmanager

下図の画面が表示されます。



「+ サイトの追加」をクリックして「サイトの追加」ウィンドウを開きます。

以下の通り入力し「追加」をクリックしてください。



×

サイトの追加

URL

www.cjs-rokin.jp

開く

IE Mode

互換モード

既定のモード

☒ リダイレクトを許可する

☐ マージなし

コメント

追加

キャンセル

URL には、「https://」の部分を削除、
ドメイン名より後ろの部分を削除して
入力してください。

登録したサイトの一覧が表示されます。

エンタープライズ サイト リスト マネージャー

エンタープライズ モードサイト リストをここで作成、更新、エクスポートします。Web サイトをリストに追加し、Microsoft Edge、Internet Explorer 11、Microsoft Edge での Internet Explorer モードのどれで開くかを指定します。共有セッション Cookie を追加して、ユーザーが Microsoft Edge モードと Internet Explorer モードを切り替えた場合に、Web サイトやアプリに引き続きサインオンできるようにします。[詳細情報](#)

+

サイトの追加

+

共有 Cookie の追加

←

XML からインポートする

→

XML にエクスポート

...

サイト

URL	開く	リダイレクトを...	マージの種類	互換モード	コメント
www.cjs-rokin.jp	...	IE モード	はい	既定	既定のモード

次に、「→XML にエクスポート」をクリックして「XML にエクスポート」ウィンドウを開きます。
以下の通り入力し「エクスポート」をクリックしてください。

エンタープライズ サイト リスト マネージャー

エンタープライズ モードサイトリストをここで作成、更新、エクスポートします。Web サイトをリストに追加し、Microsoft Edge、Internet Explorer 11、Microsoft Edge での Internet Explorer モードのどれで開くかを指定します。共有セッション Cookie を追加して、ユーザーが Microsoft Edge モードと Internet Explorer モードを切り替えた場合に、Web サイトやアプリに引き続きサインオンできるようにします。[詳細情報](#)

+ サイトの追加 + 共有 Cookie の追加 <- XML からインポートする

→ XML にエクスポート ...

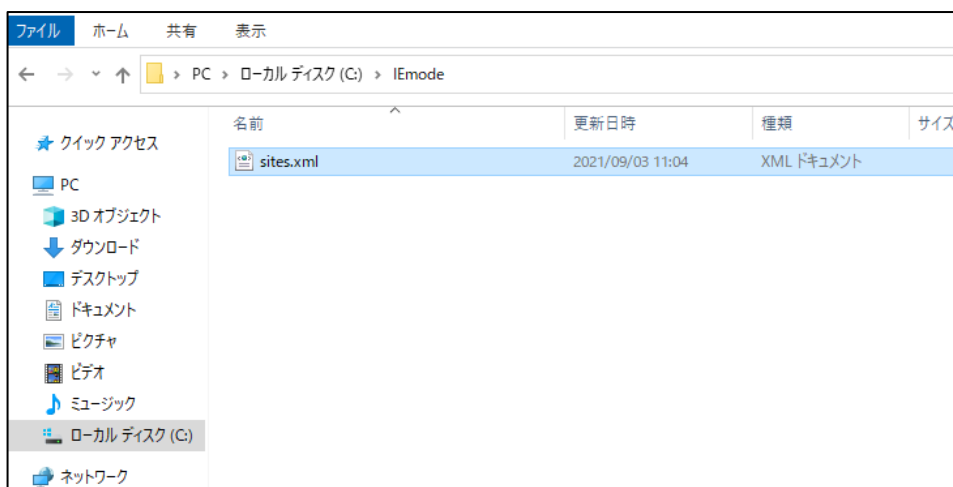
🔍 URL でサイトをフィルター処理

例)

バージョン番号は、任意の文字を入力してください。例)では、日付を入力しています。
 ファイル名は、手順 4-5 ポリシー「エンタープライズモードサイトリストを構成する」で入力した
 ファイル名を指定してください。
 ※エクスポートをクリックするとファイルは自動で保存先へダウンロードされます。

4-7. サイトリストの適用

手順 4-6 でエクスポートした XML ファイルを、手順 4-5 ポリシー「エンタープライズモードサイ
 トリストを構成する」で入力したサイトリスト格納用フォルダに格納します。



Microsoft Edge にて「Internet Explorer モード サイトの一覧」に移動し、「強制的に更新」をク
 リックしてください。

「バージョン番号」、「場所」に本手順で設定したサイトリストのバージョン番号および格納場所が表示され、賃金控除事務支援システムのサイトが「ドメイン」に表示されることを確認してください。



※表示されない場合は、Edge を再起動して「Internet Explorer モード サイトの一覧」を表示してください。

以上で IE モードの設定は完了です。

本手順の設定完了時点で、Microsoft Edge から賃金控除事務支援システムにアクセスすると IE モードで表示されます。

5. その他

5-1. IEモードの設定を行ってもログイン画面が表示されない場合

IE モードの設定を行ってもログイン画面が表示されない、またはログイン画面にアクセスすると Edge が閉じてしまう場合など、キャッシュ情報の破損が原因でページ情報が正しく表示されない可能性があります。この場合キャッシュを削除することで問題が解決することがあります。

IE モードのキャッシュ削除方法

Microsoft Edge を起動し、右上の「…」からメニューを展開し、「設定」をクリックします。
「プライバシー、検索、サービス」をクリックします。

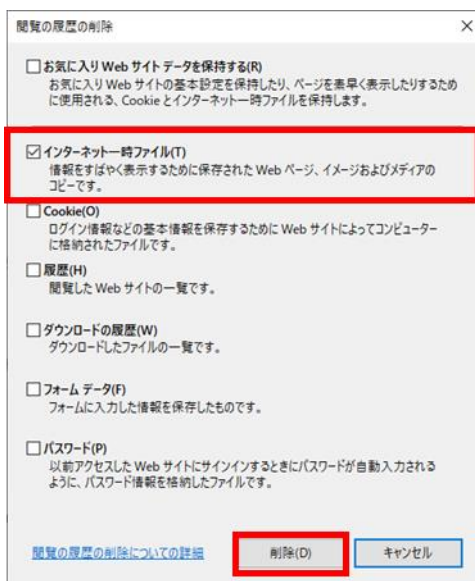


「Internet Explorer 閲覧データをクリアする」の「クリアするデータの選択」ボタンをクリックします。



「閲覧の履歴の削除」画面が表示されます。「インターネット一時ファイル」を選択し、[削除] ボタンをクリックします。処理が完了すると「閲覧の履歴の削除」画面が閉じます。

※インターネットオプションからも同様にキャッシュをクリアすることができます。

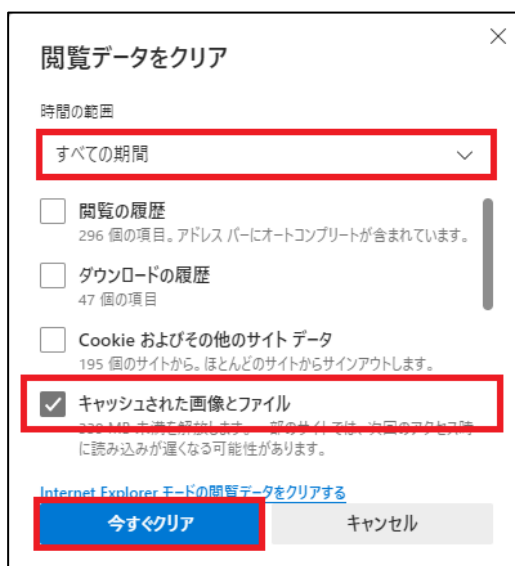


Edge のキャッシュ削除方法

「閲覧データをクリア」の「クリアするデータの選択」ボタンをクリックします。



「閲覧データをクリア」画面が表示されます。項目「時間の範囲」で、「すべての期間」を選択します。「キャッシュされた画像とファイル」を選択し、[今すぐクリア]をクリックします。処理が完了すると「閲覧データをクリア」画面が閉じます。



5-2. IEモードの設定で URL の登録ができない場合

3 章 Microsoft Edge の設定画面から IE モードの設定を行う手順の中で Microsoft Edge 画面の上部に、「組織によるブラウザーは管理されています」と表示される場合や、「Internet Explorer モードページに URL を追加する案内」が表示されない場合は、ご利用の環境においてグループポリシーにより制限がかかっている可能性があります。

セキュリティ担当者またはネットワーク管理者へ、グループポリシーによる制限の変更が可能なかを確認してください。



5-3. ポリシーファイルについて

4 章 で Microsoft 公式のダウンロードページから取得したポリシーファイルは、デスクトップやドキュメントフォルダ等任意の場所に保存してください。また設定作業終了後は、ポリシーファイルを使用しませんので削除して問題ありません。

5-4. サイトリスト格納フォルダについて

4 章 の IE モード設定作業終了後は、作成したサイトリスト格納フォルダについてフォルダの移動、フォルダ名の変更、および削除はしないでください。正しく動作しない可能性があります。変更する場合は、グループポリシーの設定から変更してください。

5-5. サイトリスト適用時にエラーが表示される場合

4 章 のサイトリストの適用時に「強制的に更新」の左側に赤丸の「！」が表示され、カーソルを合わせると「エラー:XXXXXXXX」と表示される場合があります。



このエラーが表示される場合、グループポリシーの編集において「エンタープライズモードサイトリストを構成する」の設定が間違っている、またはサイトリストの格納場所が参照できなかった可能性があります。サイトリストの格納場所やファイル名が間違っていないか確認してください。

※ユーザー認証が必要なパソコンにサイトリストの格納場所を指定した場合、エラーとなる場合があります。可能であれば、サイトリストの格納場所を一時的にご利用のパソコンの分かりやすいフォルダに設定しサイトリストが適用されるか確認してください。

※「エンタープライズモードサイトリストを構成する」と同じような項目、「エンタープライズモードクラウドサイトリストを構成する」の設定項目もあります。間違えて設定している場合は、エラーとなりますので注意してください。